



User's Guide

ユーザーズガイド

for Macintosh

LOGOVISTA

A solid red horizontal bar located at the bottom of the page, directly beneath the LOGOVISTA logo.

-
- ・本マニュアルの内容の一部または全部を無断掲載することをお断りします。
 - ・本マニュアルの内容については、機能向上のため、予告なく変更することがあります。
 - ・本製品は優れた翻訳技術を備えた製品ですが、翻訳する原文によっては翻訳結果の内容が正確でない場合があります。あらかじめご了承ください。なお、ロゴヴィスタ(株)は本製品の翻訳結果の内容を保証するものではありません。翻訳結果につきましては、お客様の責任においてご使用ください。

©LogoVista Corporation 1991-2011

U.S. Patent No. 5,528,491; 6,278,967; 6,470,306; 6,760,695.

LogoVista LogoVista電子辞典はロゴヴィスタ株式会社の商標または登録商標です。

Microsoft, Windows, Microsoft Internet Explorer, Microsoft Entourage は米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Includes Microsoft Agent technology.

Macintosh, Safariは米国アップル社の商標です。

ROBOWORD®は株式会社テクノクラフトの登録商標です。

Real Audio®は、米国または諸外国において、米国 RealNetworks, Inc. 社の登録商標あるいは登録申請中の商標です。

©Copyright TOSHIBA Corporation 1988-2003, Toshiba Solutions Corporation 2003-2009 All Rights Reserved.

Readiris Pro 12 for LogoVista®1989-2011 Image Recognition Integrated Systems SA All rights reserved

医学英和大辞典第12版 © 2005監修:佐藤登志郎、編集西元寺克禮、発行:株式会社南山堂

ステッドマン医学大辞典 改訂第6版 © メジカルビュー社 Copyright © 2008 MEDICAL VIEW Co., LTD. ALL rights reserved. Based on STEDMAN'S Electronic Medical Dictionary, Version 7.0 (by Lippincott Williams & Wilkins / Wolters Kluwer Health Inc.) 総監修:高久史磨、編集:ステッドマン医学大辞典 改訂第6版編集委員会

ステッドマン医学略語辞典 第1版 © メジカルビュー社 Copyright © 2001MEDICAL VIEW Co.,LTD. All rights reserved. Based on STEDMAN'S Abbreviations, Acronyms & Symbols, 2nd Edition on CD-ROM (by Lippincott Williams & Wilkins / Wolters Kluwer Health Inc.) 総監修 高久史磨 編集 ステッドマン医学略語辞典編集委員会

研究社 新英和中辞典 第7版 © 2003株式会社研究社

研究社 新和英中辞典 第5版 © 2002,2003 株式会社研究社

その他の記載された会社名・商品名は各社の商標もしくは登録商標です。

- 「ステッドマン医学大辞典 改訂第6版」には正確な投薬指示・副作用・投薬スケジュールが記載されていますが、これらの情報は変更される場合もあります。医薬品の製造販売業者から提供される添付文書等の情報を必ず参照してください。

1 はじめに

このたびは医療翻訳向け英日・日英翻訳ソフト『LogoVista メディカル』をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

LogoVista メディカルには、医学分野の翻訳に最適となるよう調整された翻訳エンジンと翻訳辞書が搭載されています。また、厳選されたアプレット・ツール類で、英語での論文・メール類の読み書きを強力にサポートします。さらに、文献検索に欠かせないPubMed検索をサポートする翻訳機能も用意されています。LogoVista メディカルを、ぜひ毎日の医療翻訳にお役立てください。



本マニュアルは、LogoVista メディカルの基本的な使い方について説明しています。本マニュアルに記載されていない機能については、オンラインヘルプをご覧ください。

本マニュアルをお読みになる前に

本マニュアルをお読みになる前に、お使いのコンピュータでMac OS X 10.5以上(日本語版)が正常に動作していることをご確認ください。本マニュアルでは、ファイルの開き方/閉じ方など、Mac OSおよびMacアプリケーションに関する基本的な操作方法は理解されていることを前提に記述しています。また、Mac OS X 10.6での操作・画面表示を基準に記述しています。Mac OSの操作方法についてはMac OSのマニュアルなどをご覧ください。

本マニュアルの表記方法

文中のマークについて



注意事項を表わします。必ずお読みください。



参考事項を表わします。

2

ソフトウェア使用許諾契約書

ロゴヴィスタ株式会社(以下「ロゴヴィスタ」という)と本製品のご使用者(以下「お客様」という)は、本契約書とともにご提供するロゴヴィスタソフトウェア(以下「本ソフトウェア」という)について次の通り合意します。

第1条(使用权)

1. お客様は1台のコンピュータにおいてのみ本ソフトウェアをインストールし、使用することができます。
2. お客様は、使用者が特定の1人に限られる場合、同時に本ソフトウェアを使用しないという条件で、別のコンピュータに本ソフトウェアをインストールし、使用することができます。

第2条(複製の禁止)

1. お客様はバックアップの目的で本ソフトウェアの複製物を1個に限り作成することができます。
2. お客様は本ソフトウェアの複製を前項以外の目的で行うことはできません。お客様が本条項に違反した場合、お客様の作成した複製物の所有権はロゴヴィスタに帰属するものとし、ロゴヴィスタは即時全複製品の引き渡しをお客様に対して要求することができますものとしします。

第3条(譲渡、貸与等の禁止)

1. お客様はロゴヴィスタの書面による事前の承認なしに、第1条に規定する本ソフトウェアの使用権を、譲渡(売買、贈与、交換)または貸与等の方法で第三者に提供することはできません。
2. お客様は本製品のレンタル、擬似レンタル行為、中古品取引を行うことはできません。

第4条(賠償請求)

お客様が、第2条または第3条に違反して本ソフトウェアの複製または譲渡、貸与等を行った場合、ロゴヴィスタはお客様に対し、損害賠償として、本ソフトウェアの希望小売価格に複製回数に乗じて得た額の3倍に相当する金額を請求できるものとしします。

第5条(期間)

1. 本契約はお客様が本ソフトウェアを使用したときから効力を生ずるものとしします。
2. お客様は、ロゴヴィスタから提供された本ソフトウェア、説明書を含むロゴヴィスタからの提供物およびその複製物をすべて破棄し、その旨を証明する文書をロゴヴィスタに送付することにより、本契約を終了させることができるものとしします。

第6条(バージョンアップ)

1. ロゴヴィスタはお客様に予告なしに改良の為に本ソフトウェアの変更を行うことがあります。
2. ロゴヴィスタは本ソフトウェアを改良した新しいバージョンのソフトウェア(以下「新バージョン」という)をお客様に対して有償または無償で提供することができます。
3. バージョンアップキットの提供を受けたお客様は、本ソフトウェアの使用権その他の権利を失い、新バージョンについて新しい契約による権利を取得するものとしします。

第7条(免責)

ロゴヴィスタは本ソフトウェアの使用により生じた損害に関していかなる責任も負わないものとしします。

第8条(サポート期間)

1. 本製品の販売・配布終了から1年経過した後は本ソフトウェアに関するロゴヴィスタのサポートは終了するものとしします。
2. 新バージョンが販売・配布された場合、本ソフトウェアは特別な理由により継続される場合を除き販売・配布終了となります。本ソフトウェアに関するサポートも同様に販売・配布終了から1年経過した後に終了するものとしします。
3. 前2項の規定にかかわらず、サポート終了後もロゴヴィスタの指定した受付期間内に限り、お客様は第6条のバージョンアップのサービスを受けることができるものとしします。

第9条(本ソフトウェアの変更等の禁止)

お客様は、いかなる理由があっても本ソフトウェアの変更、改作、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルその他を行うことはできません。

第10条(管轄裁判所)

お客様及びロゴヴィスタは本契約に関連して発生した紛争については東京地方裁判所を第一審の管轄裁判所とすることに合意します。

以上

『LogoVista メディカル ユーザーズガイド』は、LogoVista メディカルをお使いのコンピュータで正しく動作させるための方法などを説明しており、次の各章で構成されています。

●第1章 翻訳の前に—翻訳スタイルの選択

LogoVista メディカルの翻訳の仕組みを踏まえた上で、翻訳前に必要な翻訳スタイルのについて説明します。

●第2章 論文の翻訳

英語の論文を読んだり書いたりするためのアプレットとして、翻訳エディタ、ファイル翻訳、Wordアドインなどの機能が用意されています。ここでは対訳翻訳を中心に、各アプレットの基本的な使い方をご紹介します。

●第3章 メールの翻訳

Apple MailまたはMicrosoft Entourage 2004、Microsoft Outlook 2011で受信したメールを開いて翻訳したり、翻訳した文を送信メールに添付する機能が付いています。これらの英文メールを読み書きするための機能について説明します。

●第4章 文献の検索と翻訳

LogoVista メディカルには、PubMedやGoogleScholarでの文献検索を補助する翻訳機能が用意されています。日本語で入力した検索キーワードを英語に翻訳したり、翻訳結果のタイトル部分を日本語に翻訳して表示できます。

ここでは、文献検索を中心に、Webを日本語に翻訳する方法を説明します。

●第5章 OCRソフト Readiris Pro 12 for LogoVista

OCRソフト Readiris Pro 12 for LogoVistaについて説明します。

CONTENTS

1.はじめに	iii
2.ソフトウェア使用許諾契約書	v
3.本マニュアルの内容	v
第1章●翻訳の前に—翻訳スタイルの選択	1
1.翻訳のしくみ	2
翻訳エンジンの働き	2
翻訳に使用する辞書の種類	2
翻訳スタイルの働き	4
2.翻訳スタイルの選択	6
3.翻訳スタイルの編集	7
LogoVista マネージャを起動するには	7
編集する翻訳スタイルを選択するには	8
専門辞書を設定するには	8
その他のオプションを変更するには	1
第2章●論文の翻訳	13
1.論文翻訳のためのアプレット	14
2.翻訳エディタについて	15
翻訳エディタを起動するには	15
[翻訳エディタ]ウィンドウの各部の名称と機能	15
3.翻訳エディタでの翻訳作業の流れ	17
原文ファイルを開いて翻訳する	17
翻訳結果を保存する	18
翻訳結果を印刷する	19
4.より良い翻訳結果を得るには	20
訳文を検討するための機能	20
翻訳の精度を上げるための機能	23
5.複数のファイルの翻訳—ファイル翻訳	24
ファイル翻訳を起動するには	24
ファイルを翻訳するには	24
6.Word文書の翻訳—アドイン翻訳	26
Wordに翻訳機能をアドインするには	26
Wordから翻訳するには	27
第3章●メールの翻訳	29
1.メール翻訳のためのアドイン	30
2.翻訳機能を組み込む	31
3.Apple Mailでメールを翻訳する	33
4.Entourage、Outlook でメールを翻訳する	34
第4章●文献の検索と翻訳	35
1.インターネットで文献を検索する	36
文献検索ウィンドウを起動するには	36
文献を検索するには	37
スマートブラウザで検索する	39
2.スマートブラウザで文献を翻訳する	41
表示中のページを翻訳するには	41
選択した文を翻訳するには	42
辞書引きするには	43
第5章●OCRソフト Readiris Pro 12 for LogoVista	44
1.OCRソフトを使用する	45

第1章 ● 翻訳の前に—翻訳スタイルの選択

LogoVista メディカル では、どのような仕組みで翻訳が行われているかを説明します。

翻訳エンジンの働き

LogoVista メディカル では、英語・日本語の双方向の翻訳ができます。翻訳作業は、LogoVista メディカル 内部の"翻訳エンジン"によって行われます。翻訳エンジンは、翻訳方向ごとに独立しています。



LogoVista メディカル では翻訳方向は自動的に切り替わります。また、必要に応じて切り替えて翻訳することもできます。

翻訳に使用する辞書の種類

翻訳エンジンは、翻訳辞書を参照しながら訳文を作成します。そこで、訳文の精度を高めるためには、翻訳辞書の語彙数が充実している必要があります。しかし語彙数が多すぎると、翻訳スピードは遅くなります。また、ひとつの言葉に対する訳語が多すぎると、翻訳エンジンが的確な訳語を選択できなくなり、かえって訳文の精度が落ちる場合もあります。

そこで用意されているのが、分野別の専門辞書です。

LogoVista メディカルの専門辞書は、内科、外科など各医療分野ごとの専門用語が収録されています。翻訳する文献に合わせて適切な辞書を使用することで、翻訳スピードを保ちながらより精度の高い訳文を得ることが期待できます。

辞書の種類

翻訳エンジンは、実際には次の3種類の辞書を参照しながら訳文を作成します。

●システム辞書

一般的な語彙が収録されている辞書です。常に使用されます。

E to J、J to Eの各翻訳エンジンごとに、ひとつのシステム辞書が用意されています。

●専門辞書

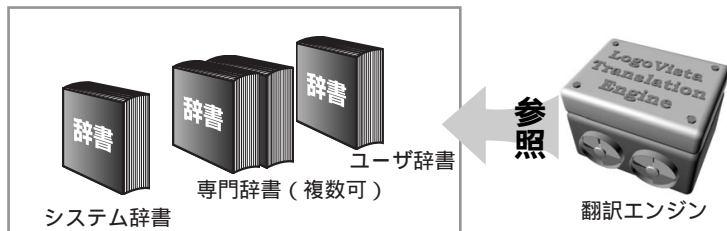
各医療分野ごとの専門用語が収録されている辞書です。

後述する翻訳スタイルで指定した専門辞書が使用されます。

●ユーザ辞書

ユーザ自身が必要な単語を登録するための辞書です。

すべての翻訳スタイル(次項をご覧ください)に共通のユーザ辞書と、翻訳スタイルごとのユーザ辞書があります。



用意されている専門辞書

■英日専門辞書

●分野辞書

エンターテイメント 固有名詞(日本人名) 固有名詞(日本地名)

●標準搭載の専門辞書

コンピュータ	科学技術一般	ライフサイエンス
情報一般	歯学	医学
機械	電気電子通信	バイオ
応用物理	応用化学	化学
物理	動物	生物
医療機器	医学総合	科学総合
科学技術(日外)	コンピュータ・IT(日中韓)	バイオ・メディカル(日外)
電気・電子・情報(日外)	機械・工学(日外)	

●診療科別辞書

内科総合	外科総合	整形外科	形成外科
脳神経外科	小児科	産婦人科	皮膚科
泌尿器科	眼科	耳鼻咽喉科	放射線科
精神科	麻酔科	歯科	消化器内科
呼吸器内科	循環器科	内分泌科	アレルギー科
血液内科	神経内科	感染症内科	呼吸器外科
心臓血管外科	消化器外科		

●学術用語辞書

寄生虫学	呼吸器病学	歯学	消化器病学
精神医学	薬学	化学	薬理学
生物学	病理学	物理学	法医学
医動物学	感染病学	看護学	救急医学
言語学	血液病学	臨床検査医学	循環器病学
神経科学	腎臓病学	生理学・生化学	解剖学
免疫学	東洋漢方医学	内分泌学	微生物・細菌学
遺伝学・分子生物学	公衆衛生学	心理学	

1. 翻訳のしくみ

■日英専門辞書

●分野辞書

エンターテイメント
固有名称(日本地名)

固有名称(日本企業名)
固有名称(世界人名)

固有名称(日本人名)
固有名称(世界地名)

●標準搭載の専門辞書

科学技術一般
機械
ライフサイエンス
応用化学
医学総合
電気・電子・情報(日外)

コンピュータ
化学
医学
物理
科学総合
機械・工学(日外)

情報一般
歯学
バイオ
動物
コンピュータIT(日中韓)
科学技術(日外)

電気電子通信
医療機器
応用物理
生物
バイオ・メディカル(日外)

●診療科別辞書

内科総合
脳神経外科
泌尿器科
精神科
呼吸器内科
血液内科
心臓血管外科

外科総合
小児科
眼科
麻酔科
循環器科
神経内科
消化器外科

整形外科
産婦人科
耳鼻咽喉科
歯科
内分泌科
感染症内科

形成外科
皮膚科
放射線科
消化器内科
アレルギー科
呼吸器外科

●学術用語辞書

寄生虫学
精神医学
生物学
医動物学
言語学
神経科学
免疫学
遺伝学・分子生物学

呼吸器病学
薬学
病理学
感染病学
血液病学
腎臓病学
東洋漢方医学
公衆衛生学

歯学
化学
物理学
看護学
臨床検査医学
生理学・生化学
内分泌学
心理学

消化器病学
薬理学
法医学
救急医学
循環器病学
解剖学
微生物・細菌学



翻訳スタイルの働き

翻訳エンジンに、使用するべき専門辞書等を指示する役目を果たすのが、「翻訳スタイル」と呼ばれる設定です。翻訳スタイルでは専門辞書の他、訳文の文体など、翻訳結果を左右するオプションの設定ができます。



翻訳オプションでは、英日翻訳をするときの訳文の文体(～だ調/～です調/～である調)やthey,them等の翻訳時の訳語などを設定できます。

- 翻訳オプションの詳細については、翻訳オプションを設定するダイアログのヘルプをご覧ください。

翻訳スタイルの切り替え

翻訳スタイルは、各翻訳エンジンごとに30ずつ用意されています。このうち、1～28の翻訳設定には、あらかじめ該当する専門辞書が設定されています。専門辞書の追加や削除など、変更も可能です。29、30の翻訳スタイルは、ユーザが自由に設定できます。

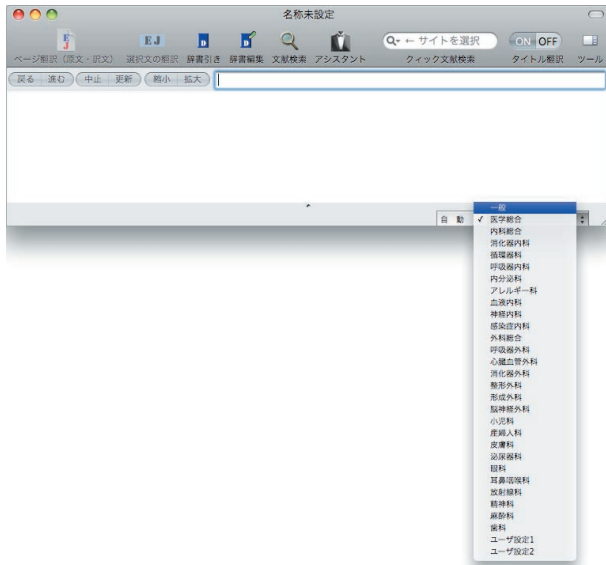
● 翻訳スタイルの一覧(英→日、日→英共通)

スタイル名	設定されている専門辞書
1 一般	設定なし
2 医学総合	医学総合(第1辞書)、医学総合(第2辞書)
3 内科総合	診療科：内科総合、医学総合(第1辞書)、医学総合(第2辞書)
4 消化器内科	診療科：消化器内科、医学総合(第1辞書)、医学総合(第2辞書)
5 循環器科	診療科：循環器科、医学総合(第1辞書)、医学総合(第2辞書)
6 呼吸器内科	診療科：呼吸器内科、医学総合(第1辞書)、医学総合(第2辞書)
7 内分泌科	診療科：内分泌科、医学総合(第1辞書)、医学総合(第2辞書)
8 アレルギー科	診療科：アレルギー科、医学総合(第1辞書)、医学総合(第2辞書)
9 血液内科	診療科：血液内科、医学総合(第1辞書)、医学総合(第2辞書)
10 神経内科	診療科：神経内科、医学総合(第1辞書)、医学総合(第2辞書)
11 感染症内科	診療科：感染症内科、医学総合(第1辞書)、医学総合(第2辞書)
12 外科総合	診療科：外科総合、医学総合(第1辞書)、医学総合(第2辞書)
13 呼吸器外科	診療科：呼吸器外科、医学総合(第1辞書)、医学総合(第2辞書)
14 心臓血管外科	診療科：心臓血管外科、医学総合(第1辞書)、医学総合(第2辞書)
15 消化器外科	診療科：消化器外科、医学総合(第1辞書)、医学総合(第2辞書)
16 整形外科	診療科：整形外科、医学総合(第1辞書)、医学総合(第2辞書)
17 形成外科	診療科：形成外科、医学総合(第1辞書)、医学総合(第2辞書)
18 脳神経外科	診療科：脳神経外科、医学総合(第1辞書)、医学総合(第2辞書)
19 小児科	診療科：小児科、医学総合(第1辞書)、医学総合(第2辞書)
20 産婦人科	診療科：産婦人科、医学総合(第1辞書)、医学総合(第2辞書)
21 皮膚科	診療科：皮膚科、医学総合(第1辞書)、医学総合(第2辞書)
22 泌尿器科	診療科：泌尿器科、医学総合(第1辞書)、医学総合(第2辞書)
23 眼科	診療科：眼科、医学総合(第1辞書)、医学総合(第2辞書)
24 耳鼻咽喉科	診療科：耳鼻咽喉科、医学総合(第1辞書)、医学総合(第2辞書)
25 放射線科	診療科：放射線科、医学総合(第1辞書)、医学総合(第2辞書)
26 精神科	診療科：精神科、医学総合(第1辞書)、医学総合(第2辞書)
27 麻酔科	診療科：麻酔科、医学総合(第1辞書)、医学総合(第2辞書)
28 歯科	診療科：歯科、医学総合(第1辞書)、医学総合(第2辞書)
29 ユーザ設定1	設定なし
30 ユーザ設定2	設定なし

- ※ フルパックでは、これらすべての翻訳スタイルにステッドマン医学専門辞書、ステッドマン略語専門辞書、南山堂医学英和大辞典第11版が含まれます。

Lovovista メディカルでは、文書の内容に合わせて翻訳スタイルを選択してから、翻訳をします。

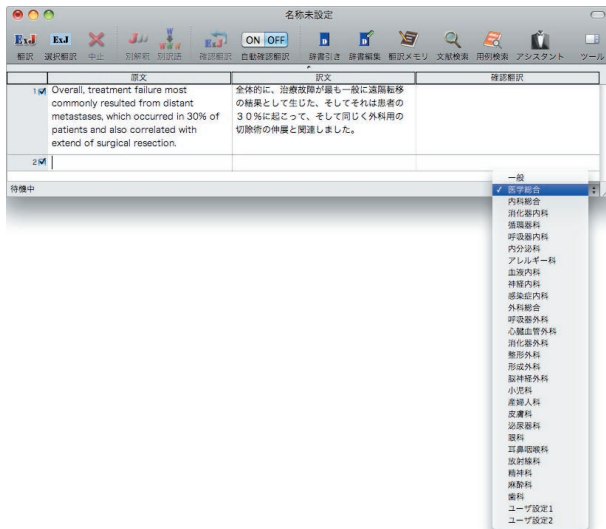
1



ステータスバーの翻訳スタイルが表示されている箇所をクリックして、一覧から選択します。

翻訳スタイルが切り替わります。その翻訳スタイルに設定されている辞書や翻訳設定が活用されて翻訳されます。

(スマートブラウザの場合)



(翻訳エディタの場合)

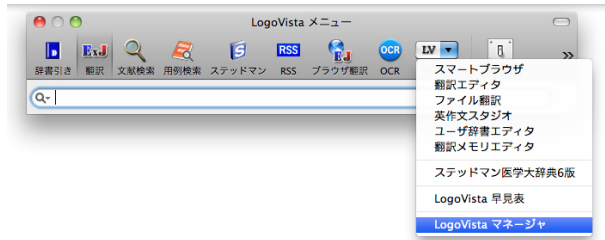
すでに用意されている翻訳スタイルをカスタマイズしたり、ユーザ翻訳スタイルを編集します。専門辞書を翻訳スタイルに追加したり、取り除いたりする手順も含まれます。必要に応じて、お読みください。

LogoVista マネージャを起動するには

LogoVista マネージャは翻訳スタイルを編集するためのツールです。以下の手順で起動します。

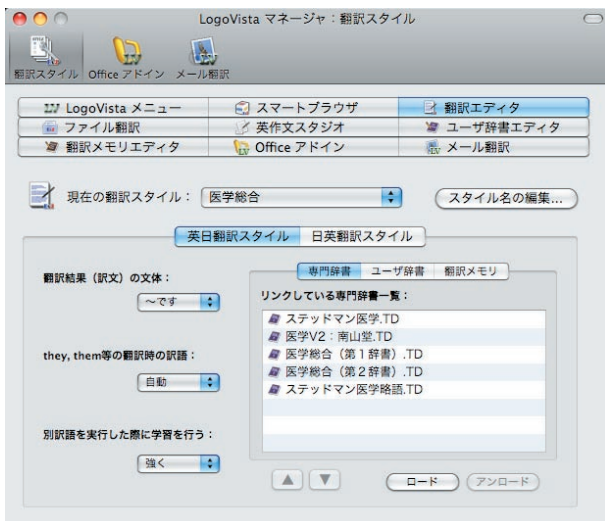
LogoVista メニューから

1



LogoVista メニューの[ツール]ボタンをクリックし、表示されるメニューから[Logo Vista マネージャ] をクリックします。

2



LogoVista マネージャが起動します。

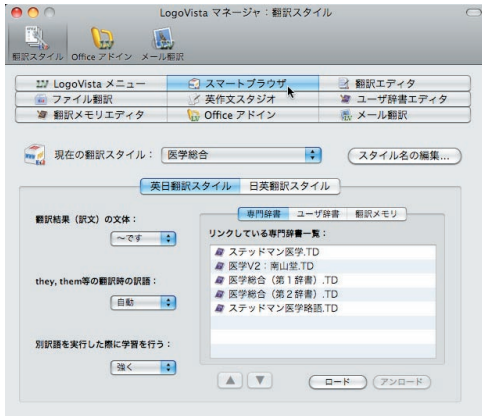
Finderから

[起動ボリューム]→[アプリケーション]→[LogoVista メディカル]→[LogoVista マネージャ]の順に選択します。

編集する翻訳スタイルを選択するには

[LogoVista マネージャ]では各翻訳エンジンごとに30ずつ用意されている翻訳スタイルの内容を編集できます。編集する翻訳スタイルは、以下の手順で選択します。

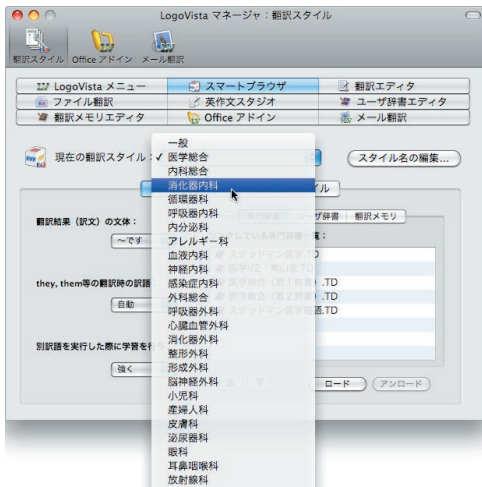
1



[LogoVista マネージャ]で翻訳スタイルを設定するアプリケーションを選択します。方向を選択します。

1

2



[現在の翻訳スタイル]のリストから、編集する翻訳スタイルを選択します。

翻訳スタイルが選択されます。画面下側には、選択した翻訳スタイルの設定内容が表示されます。

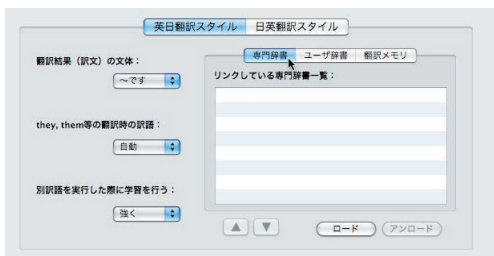
専門辞書を設定するには

各翻訳スタイルには、必要に応じて専門辞書の追加や削除ができます。

専門辞書を翻訳スタイルにロードする

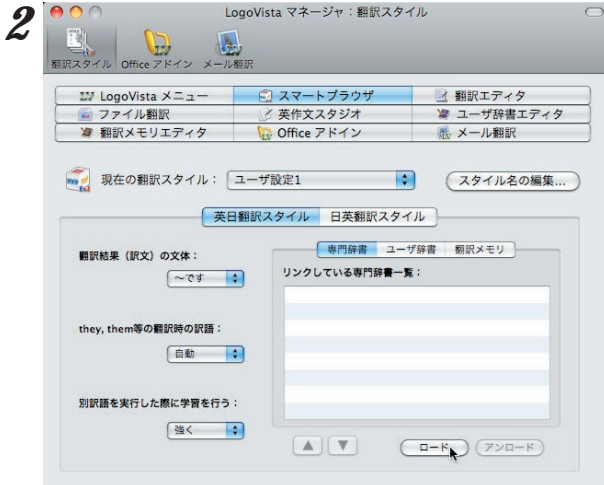
設定する翻訳スタイルを選択してから、以下の手順で操作します。

1

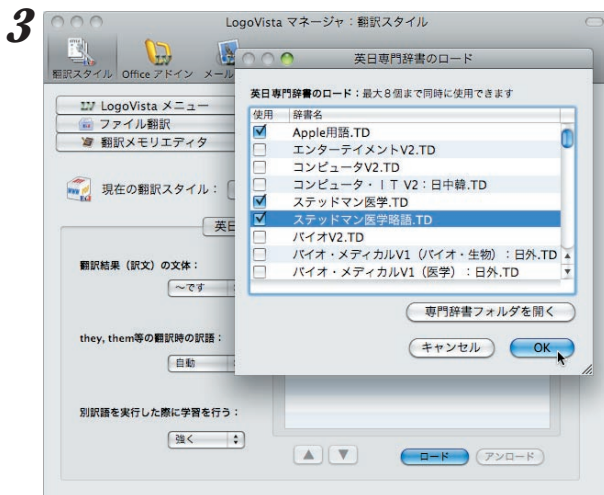


辞書の種類を選択します。

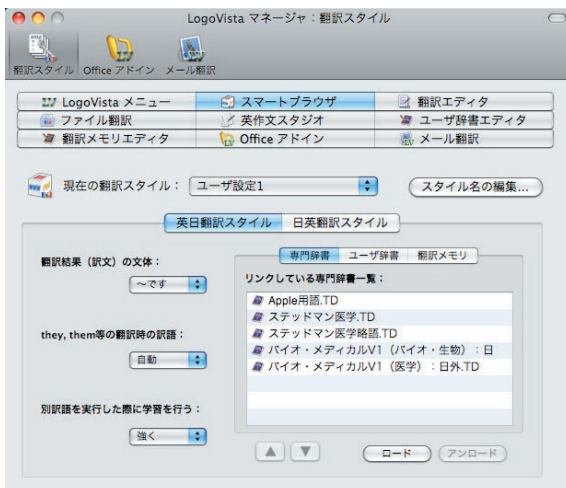
[英日翻訳スタイル]または[日英翻訳スタイル]のいずれかををクリックします。引き続き、[専門辞書]をクリックします。



[ロード]ボタンをクリックします。
[辞書のロード]ダイアログボックスが表示されます。



翻訳スタイルに登録する辞書をクリックして選択します。
必要な辞書を選択したら[OK]ボタンをクリックします。



専門辞書の欄に、登録した辞書が表示されました。

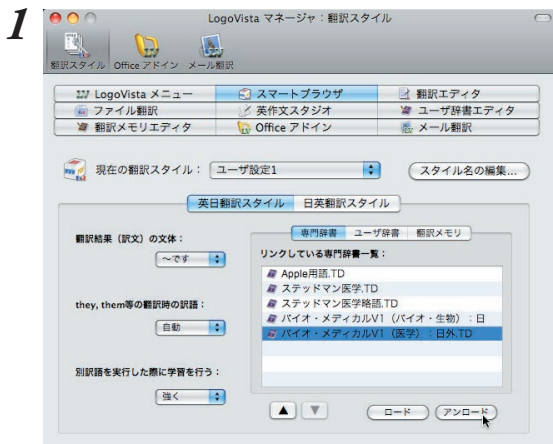


同様の手順で、他の翻訳スタイル用のユーザ辞書をロードすることもできます。

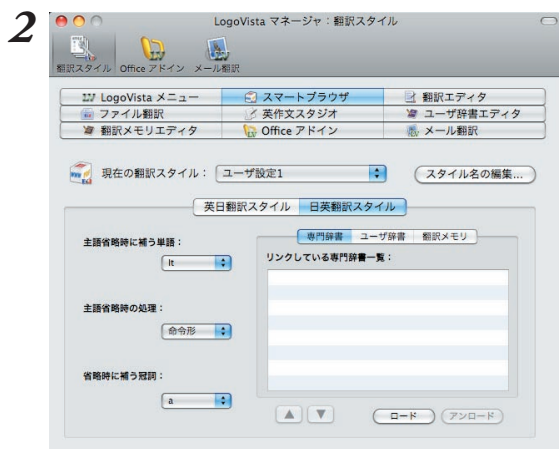
専門辞書を翻訳スタイルから削除するには

使わない辞書を翻訳スタイルに登録しておくで、翻訳速度が低下したり、思わぬ翻訳結果になったりします。使わない辞書は翻訳スタイルから削除しておきます。

削除するには、設定する翻訳スタイルを選択してから、以下の手順で操作します。



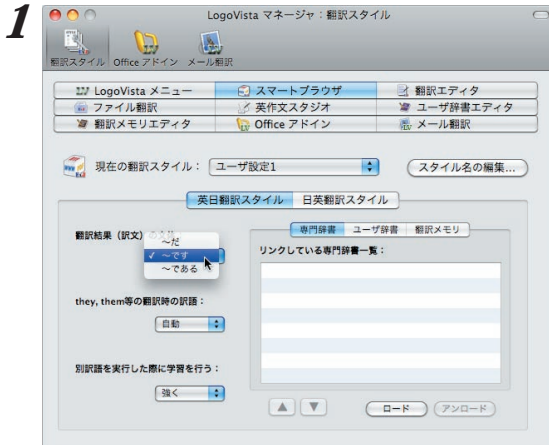
削除する辞書をクリックで選択し、[アンロード]ボタンをクリックします。



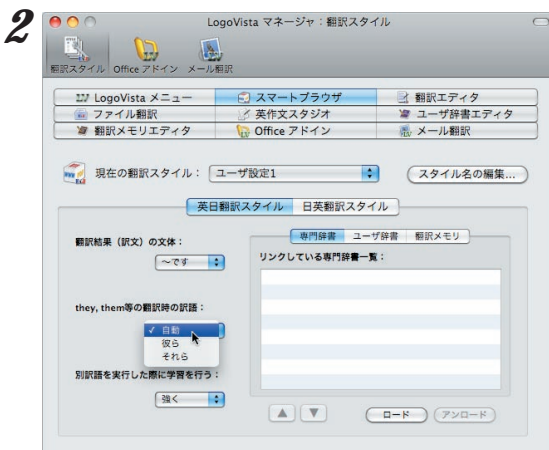
一覧から選択した辞書が削除されます。

その他のオプションを変更するには

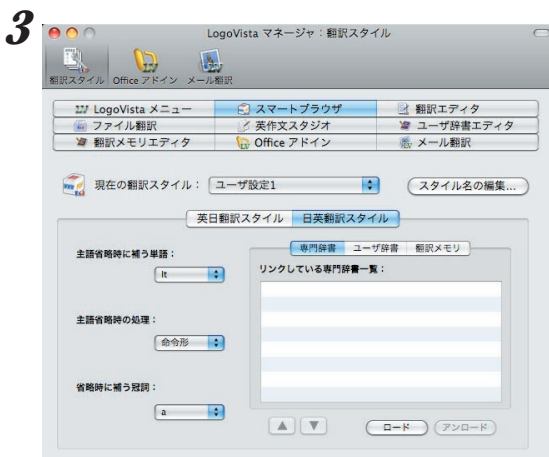
LogoVista マネージャでは「翻訳結果(訳文)の文体」「they,them等の翻訳時の訳語」など日英および英日の変更オプションが用意されています。以下の手順で操作します。



例えば、[英日翻訳スタイル]をクリックし、[翻訳結果(訳文)の文体]をクリックして指定の訳語をクリックします。



[they,them等 の翻訳時の訳語]をクリックして、指定の訳語をクリックします。



[日英翻訳スタイル]では、左図のようなオプションが用意されています。

翻訳オプションの詳細については、翻訳オプションを設定するダイアログのヘルプをご覧ください。

..... Chapter 2

第2章 ● 論文の翻訳

論文等の翻訳や執筆に役立つアプレットやツールを紹介します。

英文の論文や文書を読んだり、英文での執筆、日本語の文書の英訳が必要などには、次のアプレットやツールで対応できます。用途に合わせて、使いやすいアプレットをお使いください。

精度が要求される翻訳に対応→翻訳エディタ

翻訳エディタでは、テキストファイル、Word文書ファイル、PDFファイルのテキスト部分を取り込んで翻訳できます。テキストの内容をできるだけ精細に翻訳したい場合は、翻訳エディタをお勧めします。また、翻訳エディタに日本語を入力し、英語に翻訳することもできます。

大量の文書をいっきに翻訳→ファイル翻訳

翻訳する文書が大量にある場合、訳文の精度よりも翻訳の速さが重要な場合などは、ファイル翻訳が便利です。指定した原文ファイルをまるごと訳して、訳文ファイルを作成します。複数の原文ファイルを指定して、まとめて翻訳できます。

Word文書の翻訳、Wordでの英文執筆→Wordアドイン

Word文書を翻訳するとき、レイアウトを崩さずに翻訳したい場合や、Wordで文を執筆しながら翻訳していきたい場合にはWordのアドインが便利です。Wordに組み込んだLogoVista メディカルの機能を使って、Wordから直接、翻訳ができます。

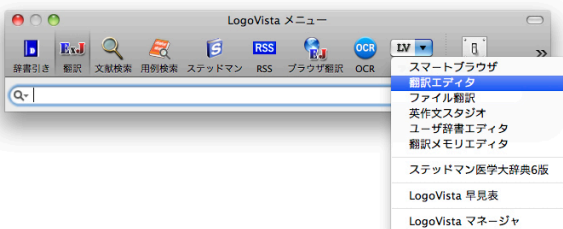
このほか、PDFの翻訳にはスマートブラウザでも可能です。詳しくは「第5章 文献の検索と翻訳」を参照してください。

2 翻訳エディタについて

翻訳エディタを起動するには

翻訳エディタは以下の方法で起動できます。

LogoVista メニューから

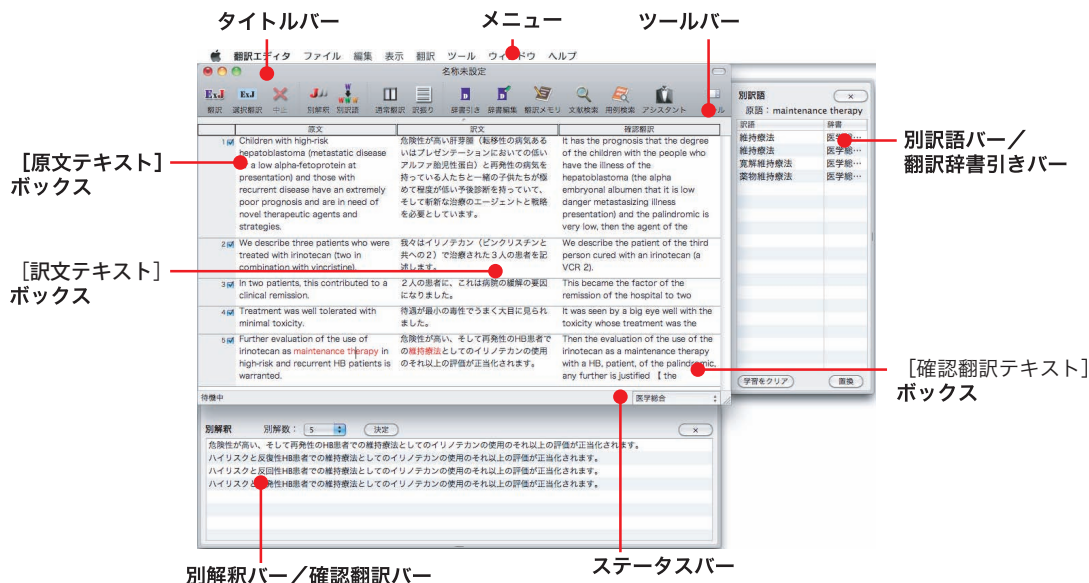


LogoVista メニューの[ツール]ボタンをクリックし、表示されるメニューから[翻訳エディタ]をクリックします。

Finderから

[起動ボリューム]→[アプリケーション]→[LogoVista メディカル]→[翻訳エディタ]の順に選択します。

[翻訳エディタ]ウィンドウの各部の名称と機能



タイトルバー

表示中の文書名が表示されます。文書が保存されている場合は、そのファイル名が表示されます。

メニュー

翻訳エディタのすべてのコマンドがメニュー表示されます。

2. 翻訳エディタについて

ツールバー

主なコマンドがボタン表示されます。ボタンにマウスを合わせると、機能がポップアップ表示されます。実行するときはボタンをクリックします。

[原文テキスト]ボックス

翻訳する原文テキストを入力します。

[訳文テキスト]ボックス

翻訳結果が表示されます。

[確認翻訳テキスト]ボックス

翻訳結果を再翻訳して翻訳の精度を確認します。

別訳語バー／翻訳辞書引きバー

別訳語バー／翻訳辞書引きバーのいずれかが表示されます。

別訳語バーには、選択状態になっている語句の別訳語が表示されます。別訳語をリストから選択し、[訳語置換]ボタンをクリックすると、その語句が訳文の語句と入れ替わります。

翻訳辞書引きバーには、選択状態になっている語句を翻訳辞書で辞書引きした結果が表示されます。

別解釈バー

カーソルが置かれている部分を中心に解釈し直した翻訳結果が表示されます。

ステータスバー

現在行われている作業の内容やコマンドの説明、選択されている翻訳方向や翻訳スタイルなどが表示されます。

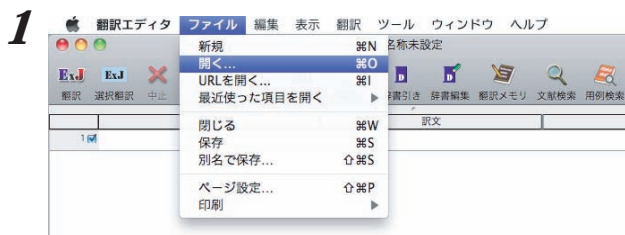
☛ メニューやボタンの詳しい内容については、ヘルプをご覧ください。

3 翻訳エディタでの翻訳作業の流れ

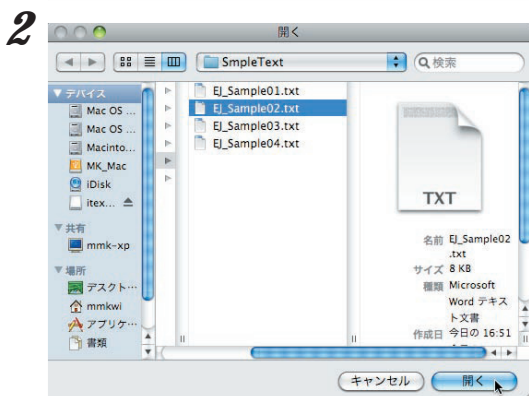
翻訳エディタの最も基本的な機能を使って、論文を翻訳して結果を保存・印刷するまでの流れを説明します。

原文ファイルを開いて翻訳する

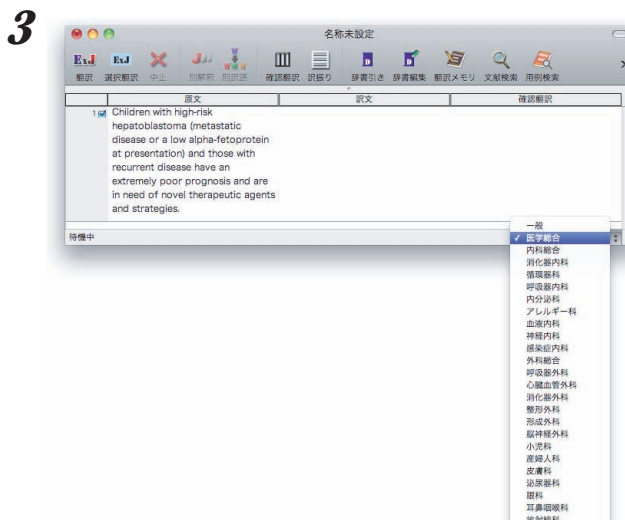
翻訳エディタで原文ファイルを開き、翻訳を実行します。



[ファイル]メニューから[開く]を選択します。
[ファイルを開く]ダイアログが表示されます。



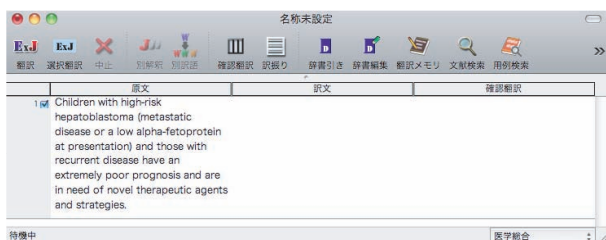
翻訳する原文ファイルを選択し、[開く]ボタンをクリックします。
翻訳エディタに指定の原文が表示されます。



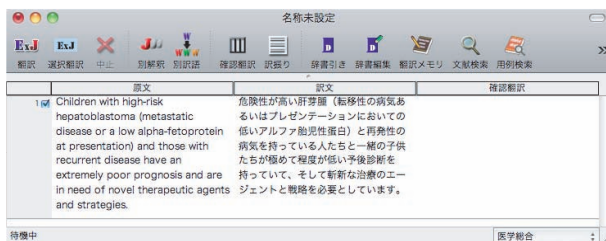
ステータスバーから翻訳スタイルを選択します。

3. 翻訳エディタでの翻訳作業の流れ

4



[翻訳] ボタンをクリックします。



翻訳結果が[訳文テキスト]ボックスに表示されます。

2

翻訳結果を保存する

翻訳結果は、翻訳エディタ専用の文書ファイルに保存することができます。文書ファイルには、原文テキスト、訳文テキスト、辞書に関する情報、翻訳環境に関する情報などの翻訳スタイル、翻訳に使用されたあらゆる情報が保存されます。

翻訳作業の途中で翻訳エディタを終了させる場合でも、文書ファイルに保存しておくことで、そのときの状態を再現して翻訳を続行することができます。なお、この文書ファイルは、翻訳エディタ以外のアプリケーションで開くことはできません。

文書ファイルへの保存は、次の2つのコマンドで行えます。

● [保存]コマンド

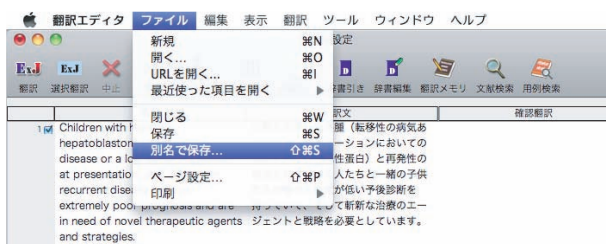
元の文書ファイルに翻訳結果を上書きして保存します。保存を実行すると、直接もとのファイルに上書きします。一度も保存していない文書の場合は、[別名で保存]コマンドと同様に機能します。

● [別名で保存]コマンド

新しい文書ファイルを作成し、最新の翻訳結果を保存します。翻訳元のファイルも残します。

ここでは、[別名で保存]コマンドで保存する手順を説明します。

1



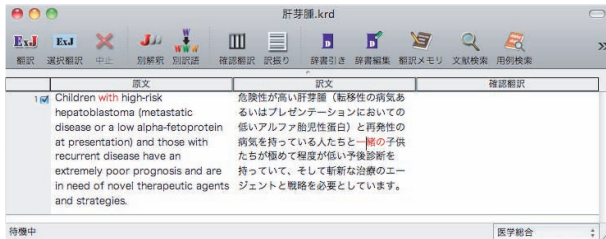
[ファイル]メニューから[別名で保存]コマンドを選択します。

文書を保存するためのダイアログボックスが開きます。

2

文書ファイル名を入力し、必要に応じて保存先のフォルダを指定します。

3



[保存]ボタンをクリックします。文書が文書ファイルに保存され、ダイアログが閉じます。文書ウィンドウのタイトルが、新しいファイル名に変わります。



翻訳結果をテキストファイルに書き出すことができます。保存用のダイアログボックスの[フォーマット]から形式を選択します。テキスト書き出しの形式は、以下の3種類です。

- 上下対訳 1文ごとに、原文を上、訳文を下に交互に書き出します。
- 原文のみ 原文テキストだけを書き出します。
- 訳文のみ 訳文テキストだけを書き出します。

翻訳結果を印刷する

[ファイル]メニューの[印刷]コマンドで、印刷できます。

翻訳エディタの翻訳結果は、次の4種類の形式で印刷できます。

- 左右対訳 原文を左、訳文を右に並べて対訳で印刷します。
- 上下対訳 1文ごとに、原文を上、訳文を下に交互に印刷します。
- 原文のみ 原文テキストだけを印刷します。
- 訳文のみ 訳文テキストだけを印刷します。

より良い翻訳結果を得るには

翻訳エディタには、より精度の高い訳文を得るための機能が用意されています。ここでは、主な機能の概要を紹介します。

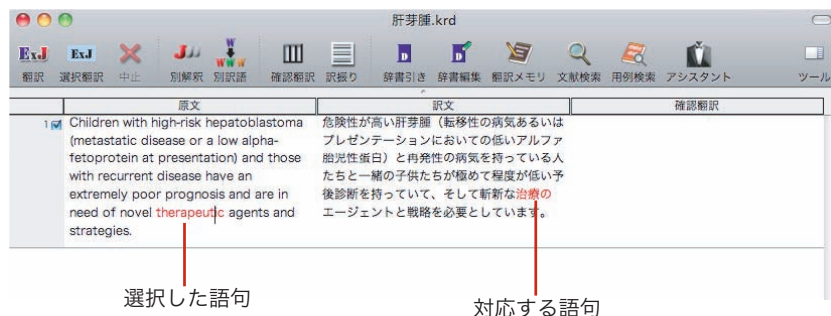
- 各機能の詳しい使い方や、ここで紹介されていない機能については、翻訳エディタのオンラインヘルプをご覧ください。

訳文を検討するための機能

翻訳後、訳文が適切かどうかを検討するときに便利な機能を紹介します。

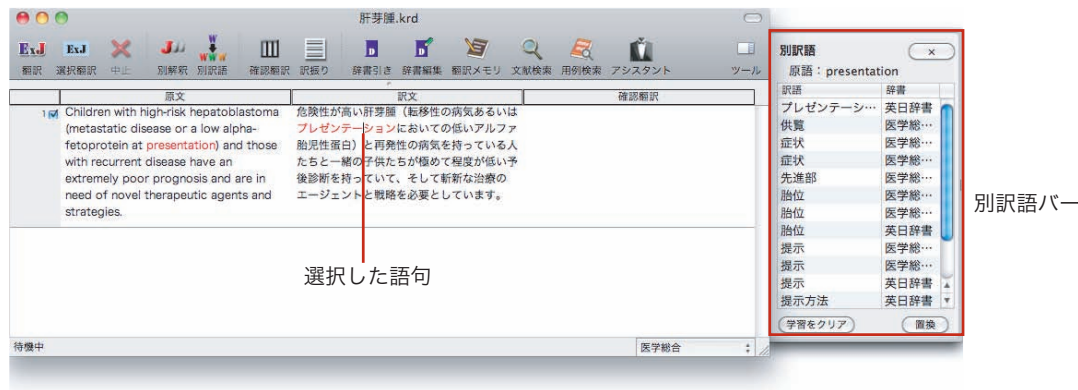
対応語表示

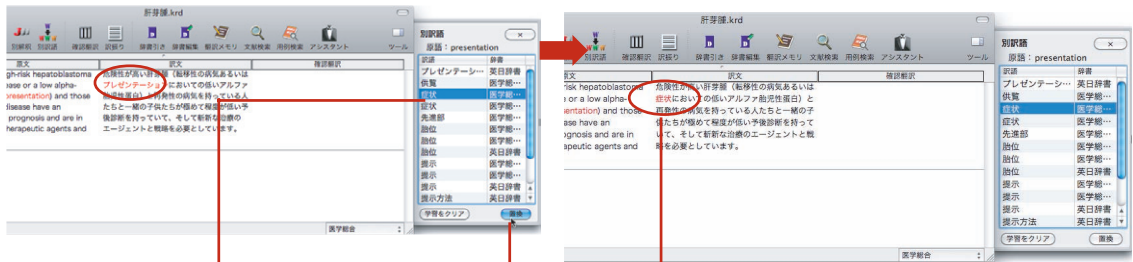
翻訳語、原文または訳文の語句をクリックすると、対応する語句が赤で強調表示されます。



別訳語バー

多くの場合、ひとつの単語には複数の訳語があります。[別訳語]ボタンをクリックすると、選択されている単語のすべての訳語が別訳語バーに表示されます。別の訳語の方が適切だと判断した場合は、リストからその訳語を選択して、[置換]ボタンをクリックします。





置き換えたい訳語を選択 [訳語置換]ボタンをクリック 訳語が入り替わります

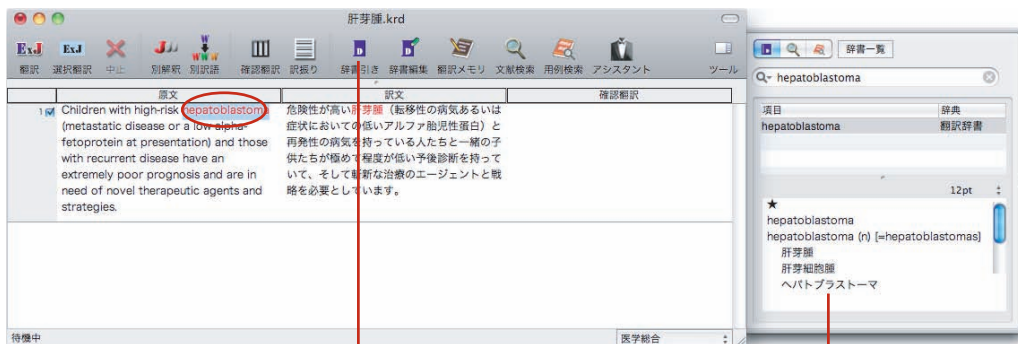


- 別訳語の選択をすると、その頻度が学習データに記録されていきます。この頻度によって、訳語の優先順位が変わります。
- 別訳語は、コンテキストメニューからも選択できます。原文あるいは訳文の1つの語句にカーソルを合わせて右クリックすると、コンテキストメニューが開き、別訳語の選択ができます。

2

辞書引きバー

翻訳辞書引きバーには選択されている単語の辞書引き結果が表示されます。辞書引きには翻訳辞書が使われます。



単語を選択してからクリック

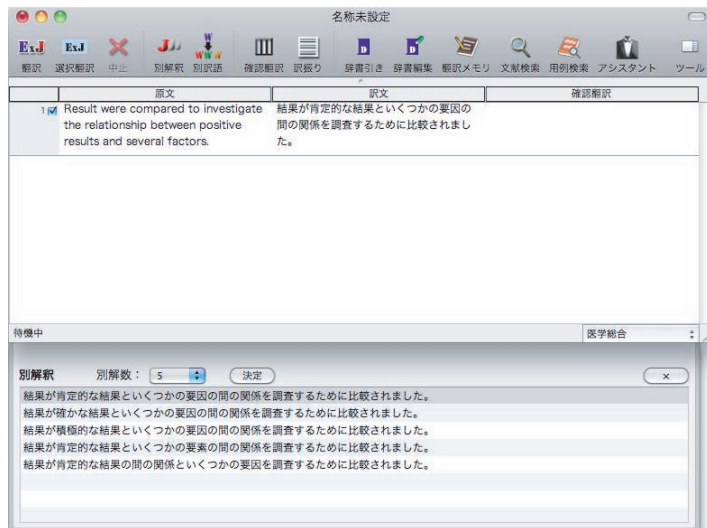
辞書引き結果が表示されます。



翻訳辞書以外の辞書も参照できます。翻訳辞書引きバーの[辞書一覧]ボタンを選択することで、使用する辞書を選択できます。

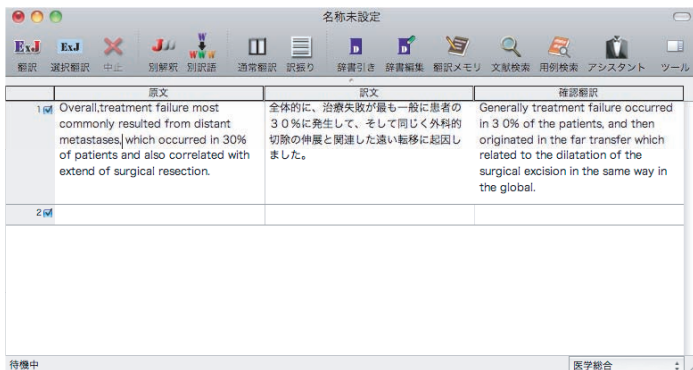
別解釈バー

[別解釈]ボタンを押すと、カーソルが置かれている段落の語句や構文を解析し直した別解釈による訳文が別解釈バーに表示されます。より適切な別解釈があった場合、その文を選択して[決定]ボタンをクリックすることで、訳文が選択した別解釈に入れ替わります。



確認翻訳

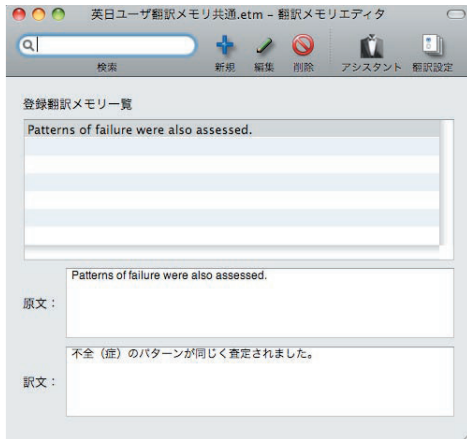
[確認翻訳テキスト]ボックスはデフォルトで表示されます。[確認翻訳]ボタンをクリックすると、逆訳されたテキストが表示されます。原文と見比べることで、原文が適切に翻訳されているかどうかを判断できます。



翻訳の精度を上げるための機能

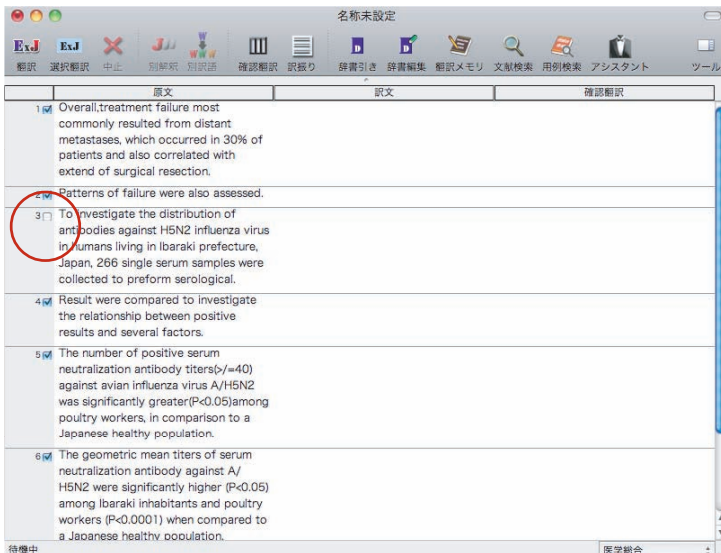
翻訳メモリ

翻訳メモリは、原文と訳文をセットにした例文を登録するデータベースです。翻訳時には翻訳メモリが検索され、原文に一致した例文があった場合、その訳文が適用され青色の文字で表示されます。翻訳後はフラグが立った文を検討して、原文と訳文の相違点を修正すれば完成します。よく使う言い回しの文を積極的に翻訳メモリに登録していくことで、より効率よく翻訳できるようになります。翻訳エディタの[翻訳メモリ]ボタンをクリックします。LogoVistaメニューからは、[ツール]ボタンをクリックし、表示されるメニューから[翻訳メモリエディタ]をクリックします。



翻訳禁止

原文の一部をそのまま引用したいとき、その文が翻訳されないように翻訳を禁止できます。[原文テキスト]ボックスの左側のチェックボックスをオフにすることで、翻訳は行われず、原文のまま[訳文テキスト]ボックスに表示されます。ただし、すでに[訳文テキスト]ボックスにテキストが入力されていると、そのテキストが生かされます。

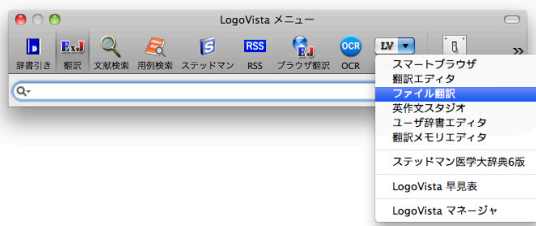


翻訳するファイルが複数ある場合は、ファイル翻訳が便利です。原文ファイルを翻訳して訳文ファイルや翻訳エディタの文書ファイルを出力します。翻訳方向や使用する翻訳スタイルが異なるファイルをまとめて翻訳処理できます。

ファイル翻訳を起動するには

ファイル翻訳は以下の方法で起動できます。

LogoVista メニューから



LogoVista メニューの[ツール]ボタンをクリックし、表示されるメニューから[ファイル翻訳]をクリックします。

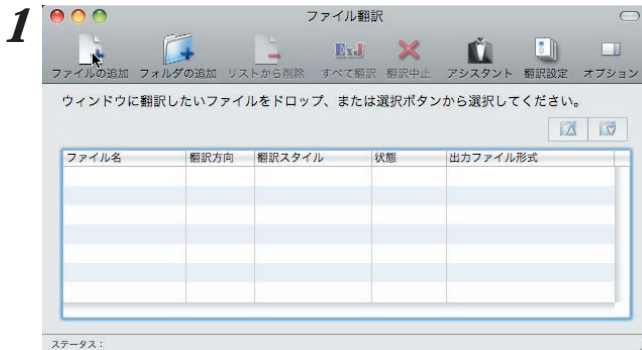
Finderから

[起動ボリューム]→[アプリケーション]→[LogoVista メディカル]→[ファイル翻訳]の順に選択します。

ファイルを翻訳するには

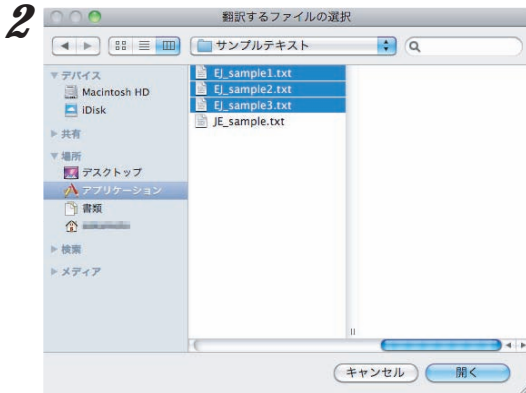
ファイル翻訳の最も基本的な使い方をご紹介します。

- ファイル翻訳の各メニューやボタンの機能については、ファイル翻訳のヘルプをご覧ください。



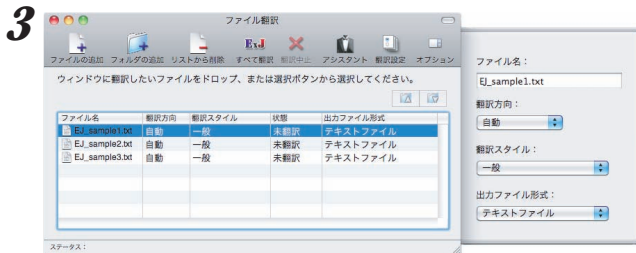
[ファイル翻訳] ダイアログで、[ファイルの追加]ボタンをクリックします。

[翻訳するファイルの選択]ダイアログが開きます。



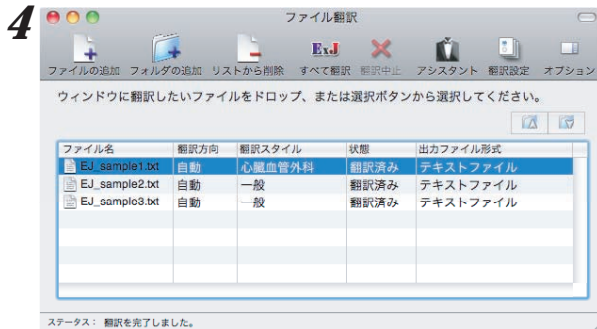
一覧から翻訳するファイルを選択して[開く]ボタンをクリックします。

[翻訳するファイルの選択]ダイアログが閉じ、翻訳ファイルリストに選択したファイル名が追加されます。



翻訳ファイルリストに適切な翻訳方向、翻訳スタイル、出力形式が表示されているか確認します。

変更するときは、ツールバーの[オプション]ボタンをクリックして表示される、翻訳オプションロードワで翻訳方向、翻訳スタイル、出力ファイル形式を変更します。



[すべて翻訳]ボタンをクリックします。翻訳が開始されます。

翻訳が終了すると、原文ファイルと同じフォルダに訳文ファイルが作成されます。

Microsoft Word にアドインした LogoVista メディカルの翻訳タブ（ツールバー）から、直接翻訳ができます。

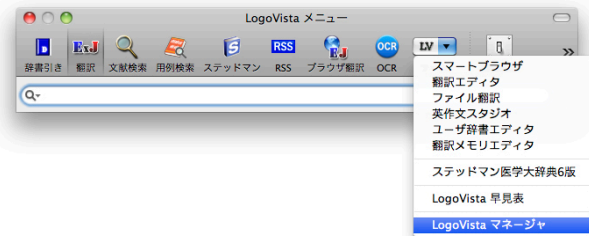
執筆済みの論文の翻訳や、Word で英文を書くときの下訳作成に利用できます。

Microsoft Office では Word を始め以下のソフトウェアにLogoVista メディカルをアドインできます。

- ・ Microsoft Word 2004/2011
- ・ Microsoft Excel 2004/2011
- ・ Microsoft PowerPoint 2004/2011

Wordに翻訳機能をアドインするには

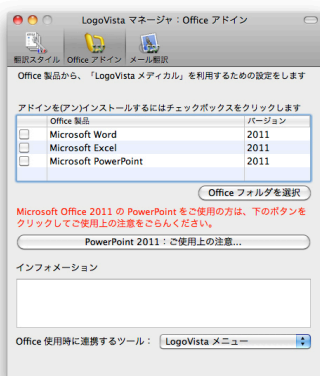
1



LogoVista メニューの [ツール] ボタンをクリックし、表示されるメニューから [Logo Vista マネージャ] を選択します

LogoVista マネージャが開きます。

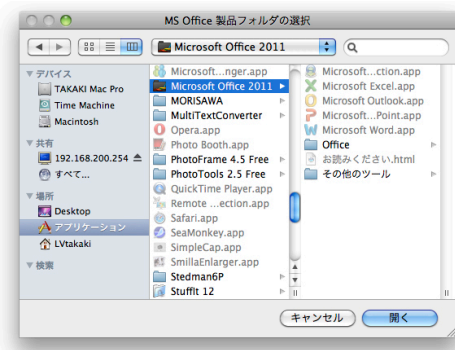
2



[Officeアドイン] ボタンをクリックし、[Officeフォルダを選択] ボタンをクリックします。

[MS Office 製品フォルダの選択]ダイアログボックスが表示されます。

3



MS Office 製品の入っているフォルダを選択して、[開く]ボタンをクリックします。

指定したフォルダに含まれるMS Office 製品が、LogoVista マネージャに一覧されます。

6. Word文書の翻訳—アドイン翻訳

4



アドインをインストールするアプリケーションのチェックボックスをオンにします。

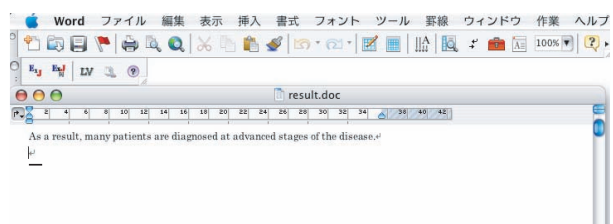
指定のアプリケーションに翻訳機能が組み込まれます。

Wordから翻訳するには

ここでは、Wordアドインでの基本的な翻訳操作を紹介します。

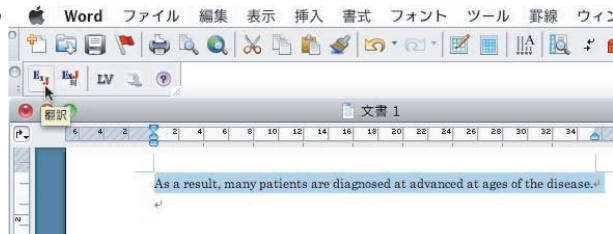
- Wordアドインの各メニューやボタンの機能については、アドインのヘルプをご覧ください。

1



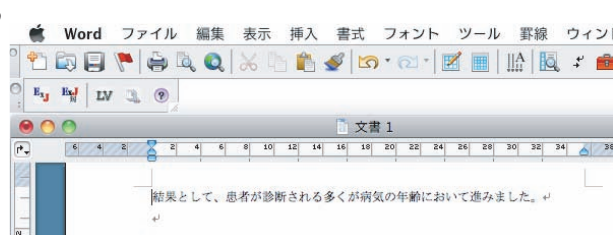
Wordで文を入力します。

2



翻訳するテキストを選択し、ツールバーの [翻訳] ボタンをクリックします。
翻訳が開始されます。

3



翻訳が終了すると、原文が訳文に置き換えられます。



[対訳翻訳] ボタンをクリックすることで、上下の対訳翻訳が可能です。

2

..... Chapter 3

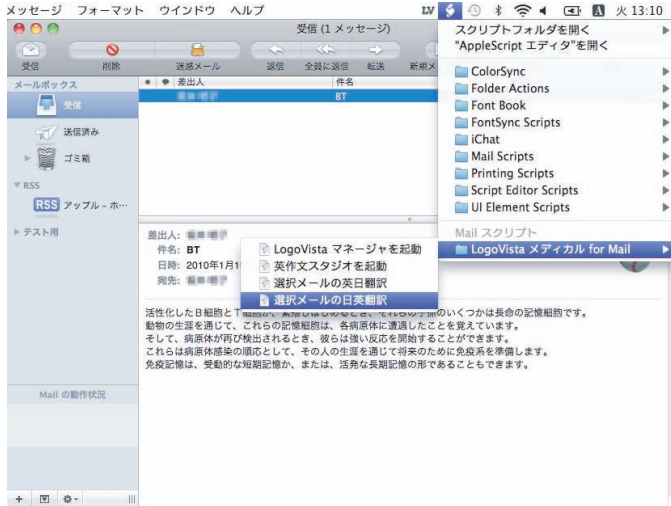
第3章 ● メールの翻訳

メール翻訳のためのアドイン

LogoVista メディカルでメールを翻訳するためのアドインを紹介します。

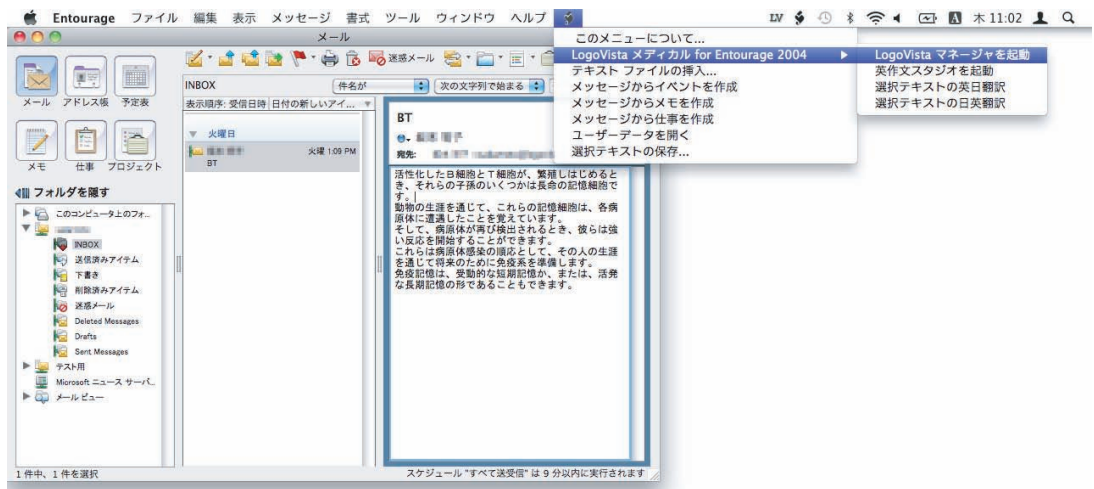
Apple Mailをお使いの場合

アドイン機能を利用すると、Apple MailにLogoVista メディカルの翻訳機能を組み込むことができます。



Microsoft Entourage 2004/Outlook 2011をお使いの場合

アドイン機能を利用すると、Microsoft Entourage 2004にLogoVista メディカルの翻訳機能を組み込むことができます。(Outlook 2011でも同様の手順で組み込みます)

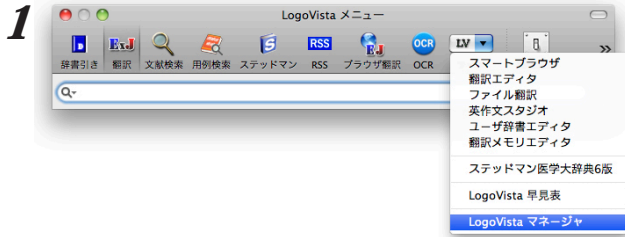


2 翻訳機能を組み込む

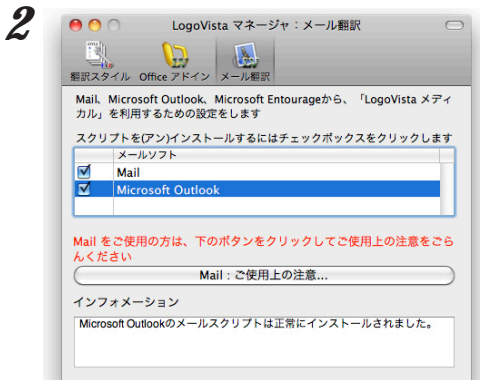
LogoVista メディカルの翻訳機能をアドインし、メニューバーにスクリプトメニューアイコンを表示させます。このスクリプトメニューから、Apple Mail またはMicrosoft Entourage 2004かで翻訳できるようになります。

対応するバージョン： Apple Mail 3.0~4.x

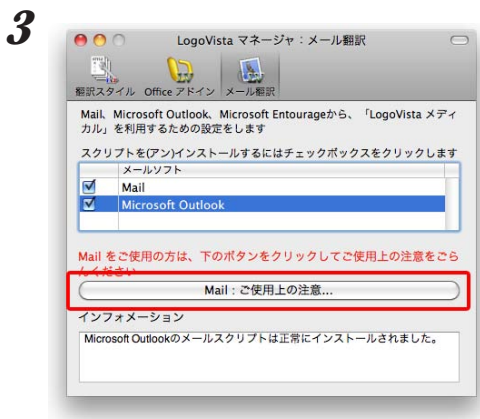
Microsoft Entourage 2004 / Outlook 2011



LogoVista メニューの [ツール] ボタンをクリックし、表示されるメニューから [LogoVista マネージャ] を選択します。LogoVista マネージャが開きます。



[メール翻訳]ボタンをクリックし、アドインをインストールするアプリケーションのチェックボックスをオンにします。



[Mail: ご使用上の注意]ボタンをクリックします。
[ご注意]ダイアログボックスが表示されます。

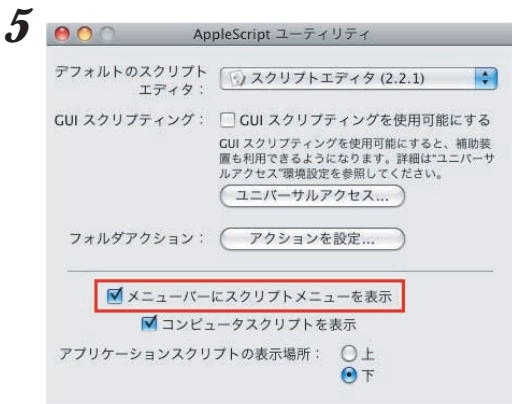
3

2. 翻訳機能を組み込む



[AppleScript ユーティリティ] を起動ボタンをクリックします。

[AppleScript ユーティリティ] ダイアログボックスが表示されます。



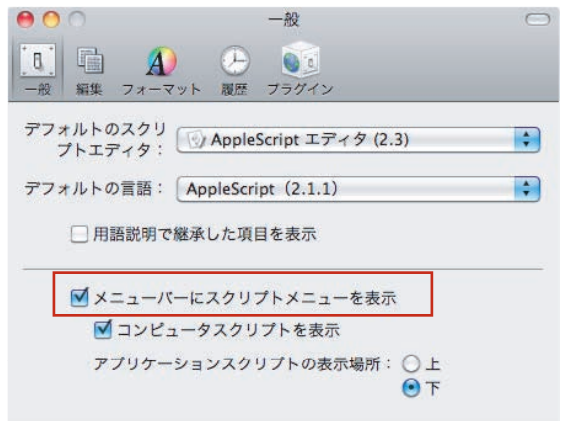
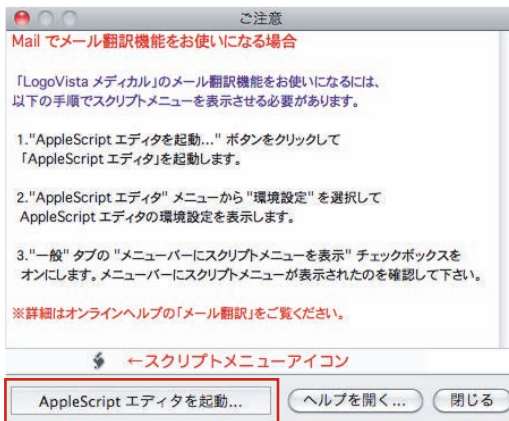
[メニューバーにスクリプトメニューを表示] チェックボックスをオンにします。



スクリプトメニューアイコンがステータスメニューに表示されました。このスクリプトメニューからメールの翻訳が可能となります。



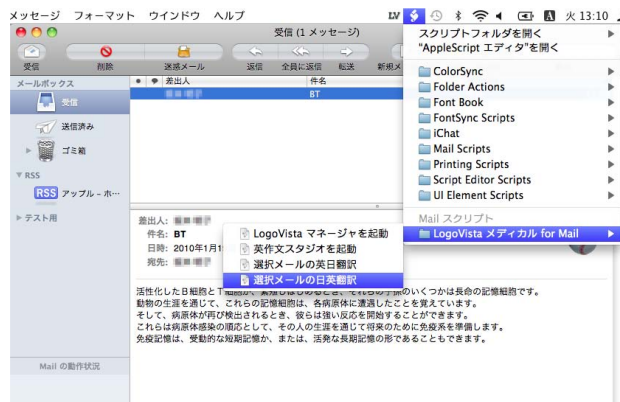
- OS X 10.6 では「AppleScript ユーティリティ」がなくなったので、代わりに「AppleScript エディタ」を利用します。
- 「AppleScript エディタ」を起動し「環境設定」を開きます。「一般」タブの中にある「メニューバーにスクリプトメニューを表示」にチェックを入れます。以降は従来と変わりません。



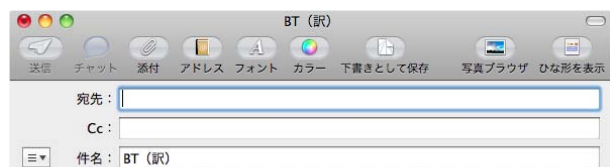
3 Apple Mailでメールを翻訳する

LogoVista メディカルの翻訳機能をアドインすることで、Apple Mailで翻訳できるようになります。

1



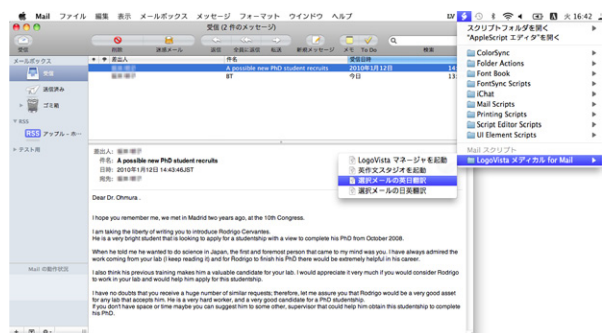
翻訳するメールを選択し、スクリプトメニューアイコンをクリックし[LogoVista メディカル for Mail]→[選択メールの日英翻訳]の順に選択します。



日本語が英語に翻訳されました。

When an activated B cell, and a T cell begin to breed, some of those descendants are the memory cells of the long life. These memory cells remember that it met each pathogenic organ through the animal's life. Then, they can start a good response when a pathogenic organ is detected again. These prepare immunity as an adaptation of the pathogenic organ infection through that person's life for the future. An immunity memory can be the form of the passive short-term memory or the active long-term memory, too.

2



英日翻訳の際はスクリプトメニューアイコンをクリックし[LogoVista メディカル for Mail]→[選択メールの英日翻訳]の順に選択します。



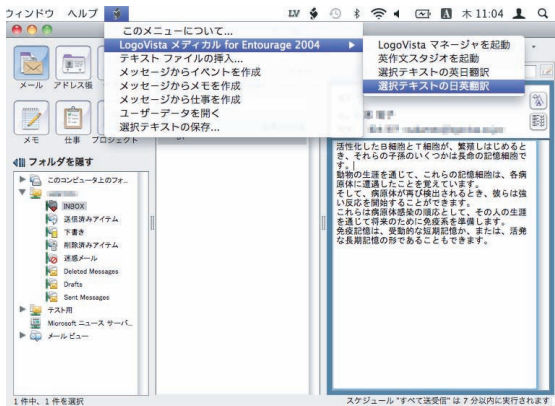
- ディスプレイサイズが小さいと、スクリプトメニューが隠れてしまう場合があります。1024×768以上でご使用ください。
- スクリプトメニューが表示されていても、Apple Mailがアクティブ(最全面)にないと、LogoVista メディカルのメニューは表示されません。

4

Entourage、Outlookでメールを翻訳する

LogoVista メディカルの翻訳機能をアドインすることで、Microsoft Entourage 2004と Outlook 2011から直接、翻訳できるようになります。

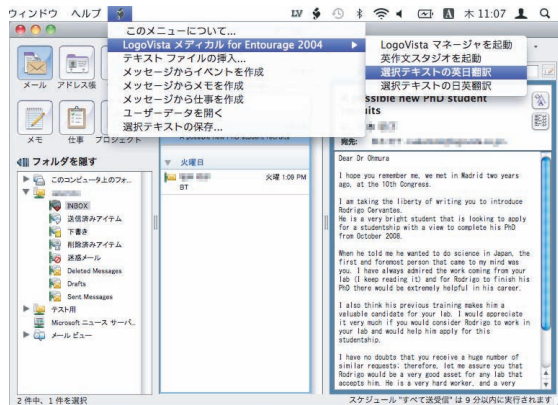
3



翻訳するメール文章を選択し、スクリプトメニューアイコンをクリックし[LogoVista メディカル for Entourage 2004] → [選択テキストの英日翻訳]の順に選択します。

3

4



英日翻訳の際はスクリプトメニューアイコンをクリックし[LogoVista メディカル for Entourage 2004] → [選択テキストの英日翻訳]の順に選択します。

同様に、Outlook2011でもスクリプトメニューから翻訳することができます。

..... Chapter 4

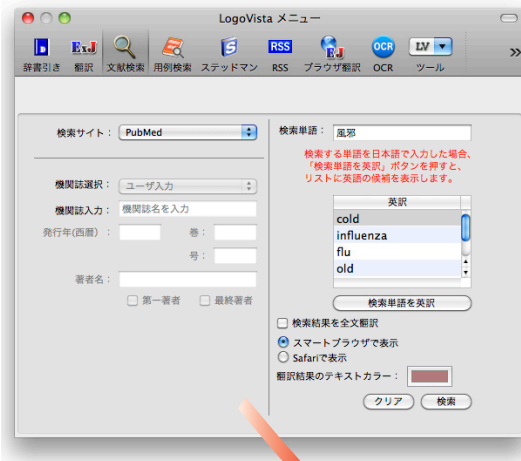
第4章 ● 文献の検索と翻訳

1 インターネットで文献を検索する

Logovista メディカルの文献検索では、日本語で入力した検索キーワードを英訳し、その訳語をもとにPubMed、Google Scholar、Googleで文献を検索できます。

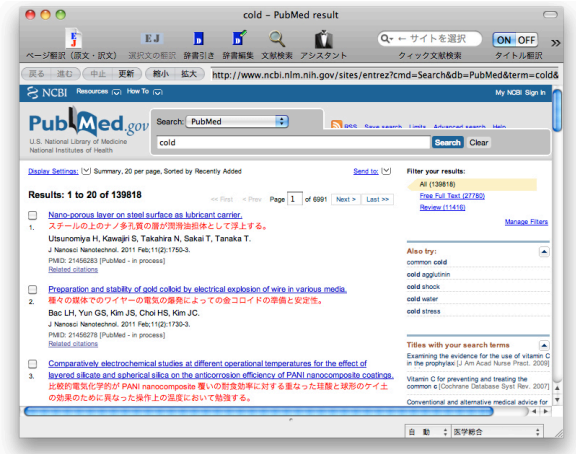
自動タイトル翻訳機能を使えば、検索結果のタイトル部分だけが自動的に翻訳されるので、必要な情報を手軽に検索できます。

[文献検索] ウィンドウ



[検索単語を英訳] ボタン

[検索単語] に日本語で入力したキーワードを翻訳して、結果を [英訳] リストに表示します。



検索結果（自動タイトル翻訳を行った場合）

文献検索ウィンドウを起動するには

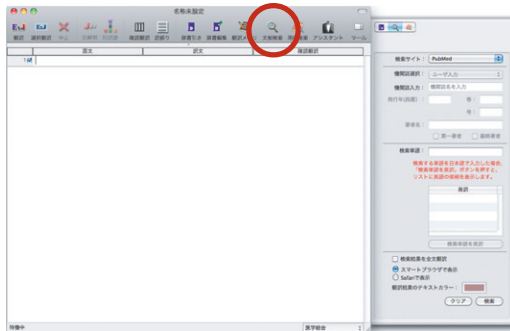
以下の方法で、文献検索ウィンドウを起動します。

Logovista メニューから



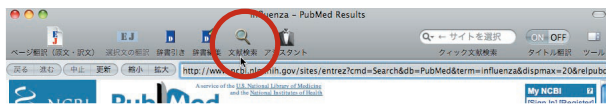
[文献検索] ボタンをクリックします。

翻訳エディタから



[文献検索]ボタンをクリックします。

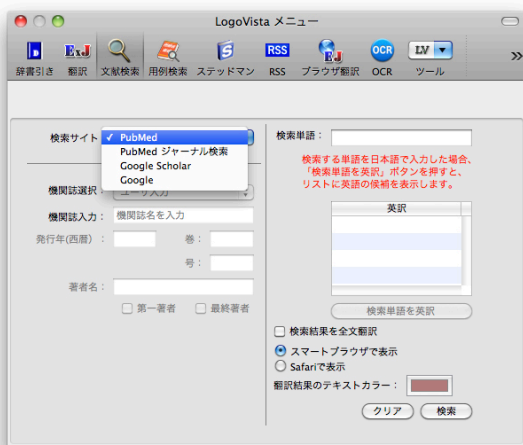
スマートブラウザから



[文献検索]ボタンをクリックします。

文献を検索するには

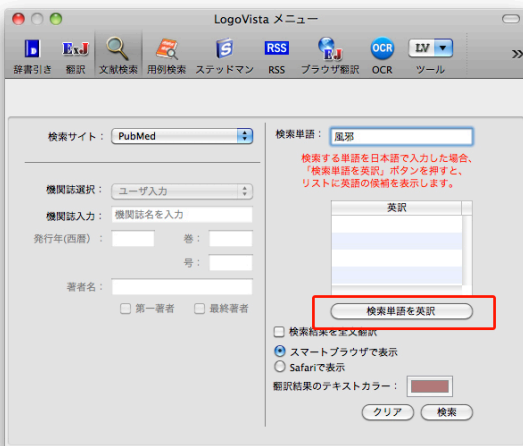
1



[検索サイト]ボックスをクリックし、表示されるメニューから目的のサイトを選択します。

4

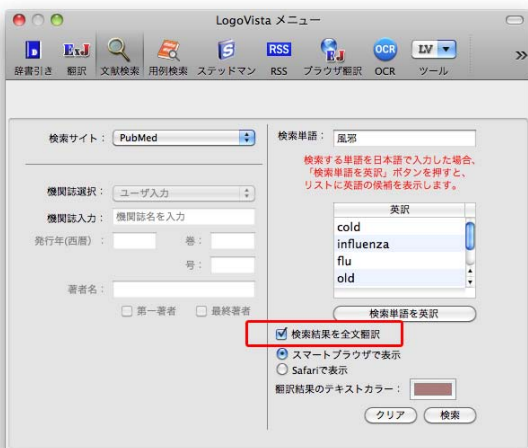
2



検索単語を入力して、[検索単語を英訳]ボタンをクリックします。

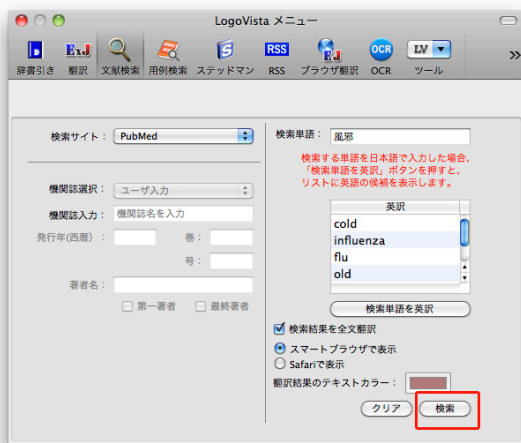
1. インターネットで文献を検索する

3



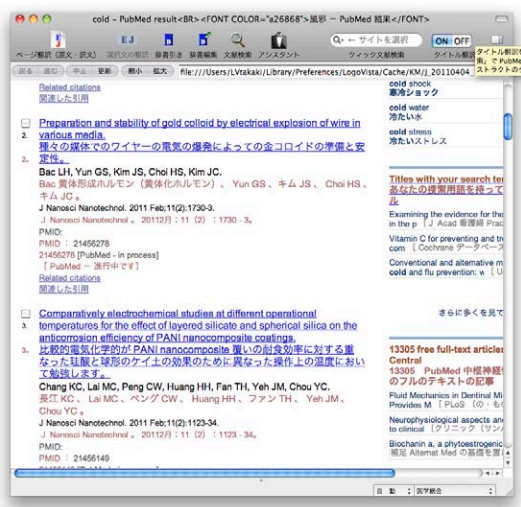
[検索結果を翻訳] チェックボックスをクリックして、チェックが入った状態にしておきます。

4



[検索] ボタンをクリックします。スマートブラウザが起動し、文献の検索が始まります。

4



検索が終ると自動的にタイトル部分の翻訳が始まります。

[翻訳状況] ウィンドウが表示され、進行状況が表示されます。翻訳が進行中でも、翻訳が終わったタイトルから順次訳文が表示されていきます。

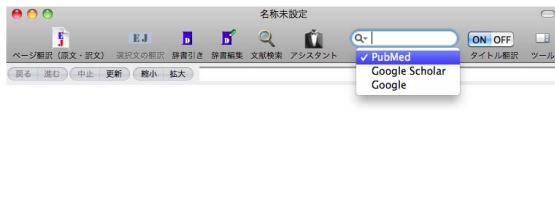
スマートブラウザで検索する

LogoVista メディカルの文献検索機能を使わずに、スマートブラウザで直接PubMed、GooleScholar、Gooleで検索したり、タイトル翻訳ができます。

クイック検索：PubMed/Google Scholar/Google

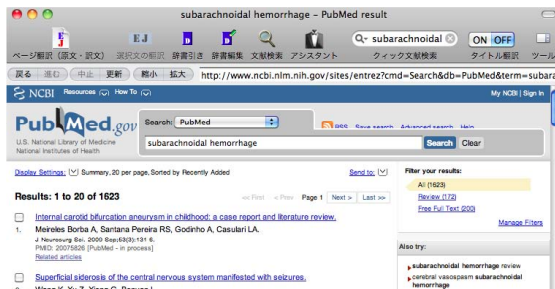
LogoVistaメニューの文献検索機能を使わずに、スマートブラウザで直接PubMedやGooleScholar、Gooleで検索します。スマートブラウザのツールバーから、検索サイトを指定し、検索用語を入力します。

1



ツールバーの虫眼鏡アイコンをクリックして、検索サイトを選択します。

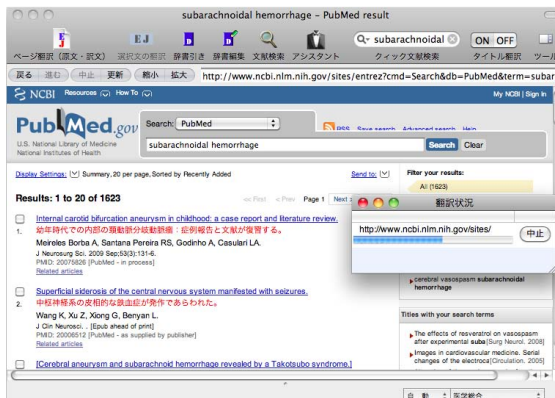
2



検索単語を入力して、return キーを押します。

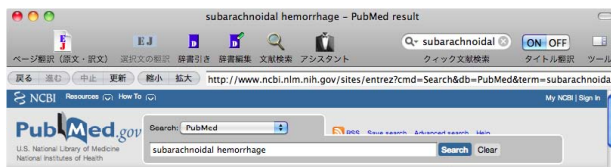
4

検索が開始され、自動翻訳がONの場合、自動的にタイトルの翻訳も実行されます。

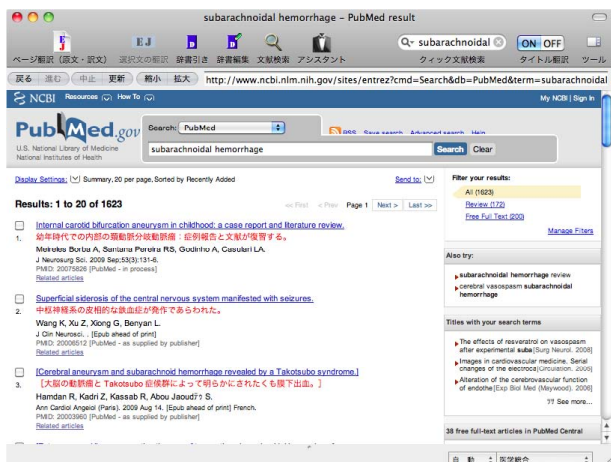


1. インターネットで文献を検索する

PubMedタイトル翻訳



スマートブラウザにPubMedでの検索結果が表示されているとき、ツールバーの[タイトル翻訳文]の[ON]ボタンをクリックします。



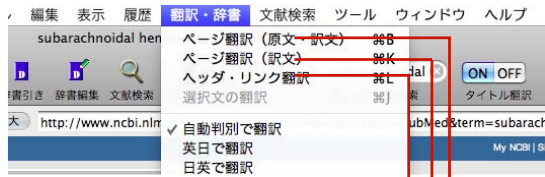
タイトル部分が翻訳されます。

4 スマートブラウザで文献を翻訳する

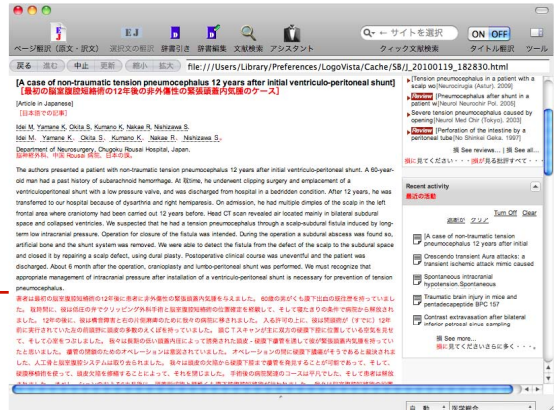
スマートブラウザで表示中のページや選択したテキストを翻訳します。スマートブラウザでは、PDF文献の翻訳も同様に可能です。

表示中のページを翻訳するには

[ページ翻訳]ボタンや[翻訳・辞書]メニューを使うことで、表示中のページのテキスト部分を翻訳し、レイアウトやリンクを活かしたまま訳文を表示します。用途に応じて、[原文・訳文][訳文][ヘッダ・リンク翻訳]の三種類の翻訳方法が用意されています。



上下対訳



ヘッダ・リンクタグのみ
見出しとリンクだけを翻訳します。

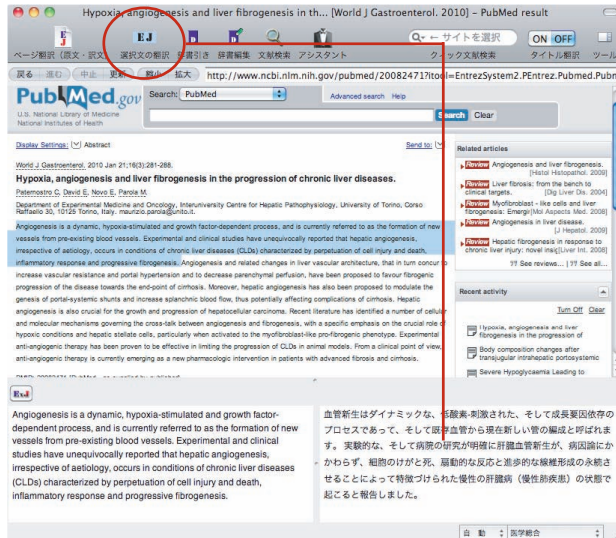
訳文のみ



4

選択した文を翻訳するには

[選択文の翻訳]ボタンを使うと、表示中のページの選択したテキスト部分を翻訳します。翻訳結果は、翻訳バーに表示されます。翻訳後に対応語の表示や別訳語の選択、また原文を編集しての再翻訳ができるので、より正確に翻訳したい場合に便利です。

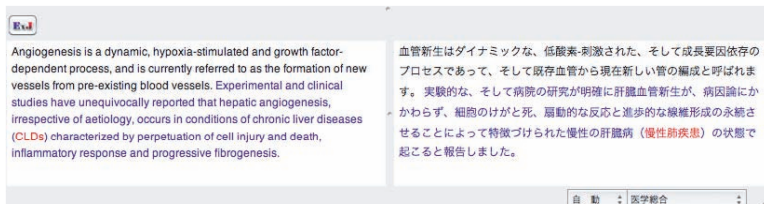


翻訳後の処理

翻訳バーでは、翻訳結果に対して次の操作ができます。

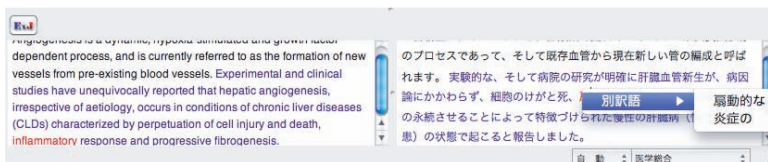
対応語の表示

原文または訳文の語句をクリックすると、対応する語句が赤で表示されます。



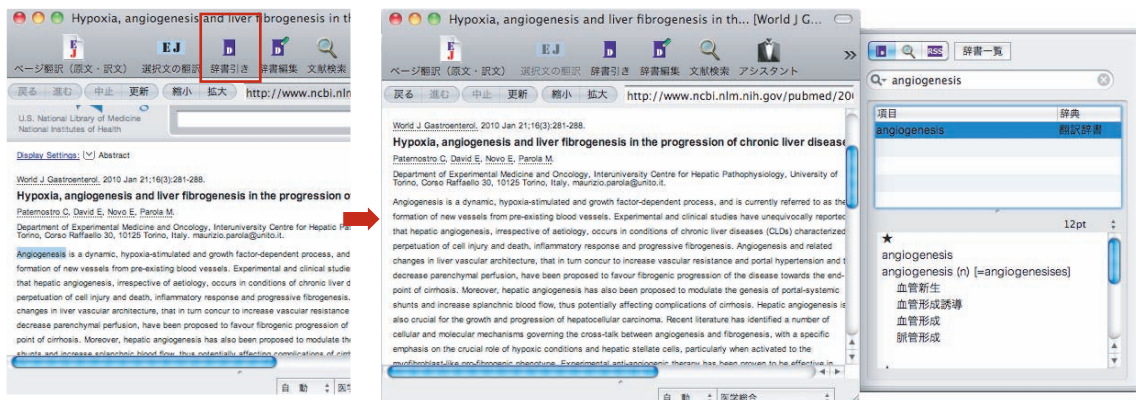
別訳語の選択

別訳語がある場合、原文または訳文の語句を右クリックすることで、別訳語の一覧を表示できます。そのうちのひとつを選択すると、訳語が置き換わります。

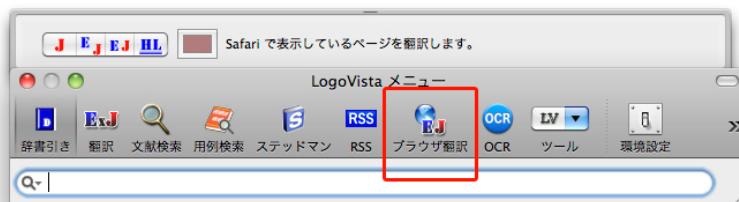


辞書引きするには

スマートブラウザで語句を選択し[辞書引き]ボタンをクリックすると、翻訳辞書引きバーが表示されます。辞書引きバーの[辞書一覧]ボタンで辞書を選択することもできます。



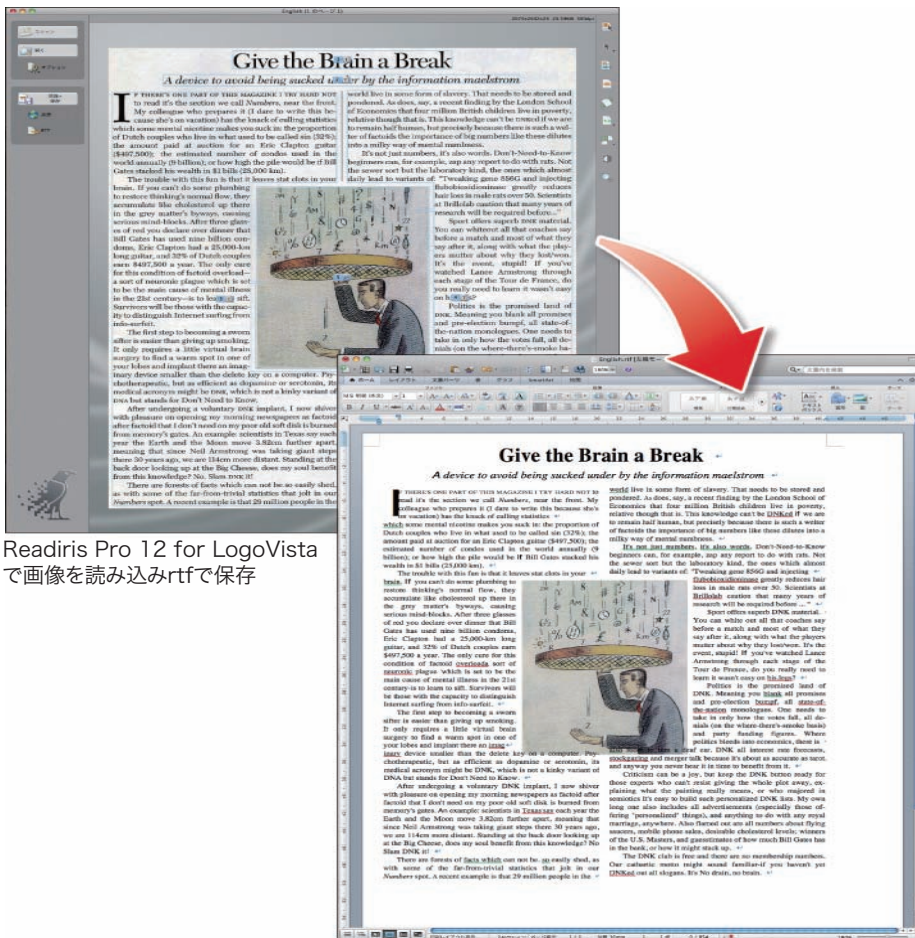
Safariで翻訳する場合は、LogoVista メニューで行います。[ブラウザ翻訳]ボタンをクリックし、翻訳する方向などをを選択します。



第5章 ●OCRソフト
Readiris Pro 12 for LogoVista

1 OCRソフトを使用する

OCRソフトReadiris Pro 12 for LogoVistaを起動します。Readiris Pro 12 for LogoVistaを使うと、スキャナーで読み込んだ印刷物をテキストに変換できます。また、LogoVistaメディカルの翻訳機能を利用して翻訳ができます。



Readiris Pro 12 for LogoVistaで画像を読み込みrtfで保存

rtfで保存した書類をMicrosoft Wordで開いた画面

OCRソフトを起動するには

以下の方法で、OCRソフトReadiris Pro 12 for LogoVistaを起動します。

LogoVista メニューから



[OCR] ボタンをクリックします。

その他の起動方法は、[アプリケーションフォルダ]-[Readiris Pro 12 for LogoVista]-[Readiris]をダブルクリック。ドックにReadirisのアイコンがある場合は、それをクリックし起動します。詳しくは、Readirisのユーザガイドまたはヘルプをご覧ください。